

高床式砂栽培農業（人・環境に優しい軽労化農業）

概要

高床式砂栽培農業とは、栽培床を高床構造にすることで作業者の足腰の負担を軽減し、高齢者や身体に障がいを持った方も栽培に取り組むことが出来ます。また土ではなく透水性・通気性の良い砂を用いることで、作物の根の健全性を維持しつつ、一定の負荷を与えることで野菜本来の味を引き出すことが出来る栽培方法です。

特徴

- 栽培ベッドは高床構造なので腰を曲げずに作業が出来ます。車椅子の方でも作業できる構造で多くの福祉施設にも導入いただいています。
- 栽培ベッド全ての面で通気性を確保することで培地を好気的な環境にし、根の健全性、微生物の活性を促します。また排水性と保水性を兼ね備えた砂を使うことで根の病気や連作障害が発生しにくくなり、培地交換は不要となります。
- 砂栽培装置、栽培管理マニュアルを用いることで栽培経験がない方でも簡単に野菜作りが出来ます。



今後の展開

- 近年は障がい者雇用の解決や都市近郊型農業を中心に高床式砂栽培設備を導入する企業が増えています。今後は農福に特化した設備の開発、障がいを持つ方も生産性の高い農業を目指した環境整備を推進していきます。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 従来の水耕栽培、養液栽培にはない『微生物との共生』という砂栽培の強みを生かし、食品残渣を堆肥化する辰巳環境開発株式会社との協力の元、輸入肥料に頼らない野菜生産にも取り組んでいます。

